

第1章 保存活用計画策定の沿革と目的

1. 計画策定の沿革

飯盛城跡は、生駒山地から派生する支脈の北端部、大東市・四條畷市にまたがる飯盛山の山頂を中心に築かれた戦国時代末期の山城跡である。標高314mの飯盛山の主尾根にⅠ郭からⅩ郭の主要な曲輪が、主尾根から派生する尾根には小曲輪群が構えられており、城域は東西400m、南北700mを測り西日本でも有数の規模を誇る。

飯盛城は享禄3年(1530)細川晴元の被官であった木沢長政の居城として文献上に初めて登場する。長政は天文6年(1537)には飯盛城で畠山在氏を河内守護として擁立し、その後見となった。これにより飯盛城は守護の居城となり、河内一国支配に携わる公的な城郭としての格式を得た。その後、城主は天文12年(1543)に交野郡私部郷周辺を基盤とする安見宗房を経て、永禄3年(1560)に阿波国出身の三好長慶が入城する。長慶は天文22年(1553)に將軍足利義輝を追放し、単独で当時の天下である首都京都を支配することに成功する。公的な城郭である飯盛城に長慶が住むことで畿内政治の中心地となり、後継者の三好義継が若江城に移る永禄12年(1569)頃まで飯盛城は城郭としての機能を維持していたと推定される。飯盛城は城郭としての機能を失った後も、近世の絵図に城跡が描かれるなど現在まで城跡として認識されていた。実際の調査は大阪府史蹟調査会の平尾兵吾による昭和5年(1930)の調査を嚆矢とし、大阪府立四條畷高等学校地歴考古学クラブによる発掘調査や、本田昇や中井均による縄張り調査が行われたことにより飯盛城跡研究の基礎となった。

大東市・四條畷市ではこれらの研究に基づき、平成28(2016)年度から三か年にわたり国史跡指定をめざした総合調査を実施した。飯盛山中に良好な状態で遺存する城郭遺構は城郭としての機能を失った永禄12年頃の姿を留めていると見られる。調査の結果、詳細な城の構造と機能を正確に把握することができた。飯盛城跡を特徴づける遺構である石垣が城域全体に取り入れられており、発掘調査では礎石や瓦が発見されたことから、織田信長から始まる織豊系城郭とは異なる特徴を持ちつつも石垣・礎石建物・瓦という3つの要素を取り入れた城郭史上の画期に位置づけられる貴重な山城であり、戦国時代末期の政治・軍事を知る上で重要であるといえる。総合調査ではこれまで明らかではなかった飯盛城の支城である野崎城跡や龍間城跡の遺構の状況を把握することができた。

大東市・四條畷市は総合調査で確定した飯盛城跡の城域を含む698,557.20㎡(大東市 567,273.30㎡、四條畷市 131,283.90㎡)を史跡指定予定地として地権者への史跡指定同意取得を進めた結果、令和3年(2021)10月11日に633,394.20㎡(大東市 514,009.30㎡、四條畷市 119,384.90㎡)が国史跡に指定され、令和4年(2022)11月10日にはⅨ郭(南丸)を含む17,064.00㎡、令和5年(2023)3月20日にはⅠ郭(高櫓郭)からⅧ郭(千畳敷郭)にわたる35,300.00㎡が国史跡として追加指定された。

近年は少子高齢化等による担い手不足などを背景として、全国的に文化財の滅失等が喫緊の課題となっている。この課題に対応していくために、国は文化財保護法を改正(平成31年[2019]施行)し、「保存活用計画」の策定が法律に位置付けられた。「保存活用計画」とは、各文化財の保存・活用の考え方や所有者等において実施していく具体的な取り組みの内容を位置付けた保存・活用を進めていくための指針となる基本的な計画である。史跡飯盛城跡においても、保存・活用に関する取り組みを計画的に進めていくために、基本的な指針となる「史跡飯盛城跡保存活用計画」を策定することとした。

表 1 飯盛城跡の調査と史跡指定に関する出来事

凡 例	
●	調査関係
◆	指定関連
◎	整備関係
▲	委員会等
■	報告・発信

年	出来事
大正5頃(1916)	◎(大阪府立四條畷中学校)飯盛山登山道を整備
昭和5(1930)	●(大阪府史蹟調査会)平尾兵吾による飯盛城跡の踏査
昭和8頃(1933)	◎(大阪府)飯盛山登山道を整備【旧道】(四條畷神社裏手より山腹を巻き登る狭い道)
昭和40(1965)	●(大阪府立四條畷高等学校)地歴考古学クラブによる縄張り図作成
昭和41(1966)	◎(大東市)第一期飯盛山ハイキング道路工事が完了し開通
昭和42(1967)	●(大阪府立四條畷高等学校)地歴考古学クラブによる曲輪27の発掘調査
昭和43(1968)	■(四條畷町)町史に地歴考古学クラブの調査成果を掲載。曲輪名称の再整理 ◎(大東市)第二期飯盛山ハイキング道路工事が完了し開通
昭和45(1970)	●本田昇による茶臼山砦、龍間城跡等を含む広範囲に及び詳細な縄張り図が作成される
昭和47(1972)	7月 ■(四條畷市)市史に飯盛城跡を掲載。縄張り図が掲載される。曲輪名称の再整理 ◎飯盛山登山道【旧道】が集中豪雨により路肩が崩れて廃道
昭和48(1973)	■(大東市)市史に飯盛城跡を掲載。測量地図に曲輪を描き入れた縄張り図を掲載し、支城である龍間城跡が初めて示される
昭和53(1978)	◎(四條畷市)延長1.5km・幅員1.2mの飯盛山管理道路を整備 【新道、現在のハイキング道】(四條畷神社北側～御机神社上～山頂)
昭和56(1981)	●中井均により飯盛城跡の縄張り図が作成され、城の構造が明らかになる
平成元(1989)	1月 ●(大東市)FM802飯盛山送信所建設に伴う曲輪84の発掘調査。土塁や柵跡を検出
平成22 (2010)	◎(大東市)飯盛城跡の説明板設置
	11月 ■(NPO法人摂河泉地域文化研究所)シンポジウム「波濤を越えて ローマからはるか河内へー河内 キリシタンと飯盛山城ー」を開催
平成24 (2012)	●中井均により縄張り図の再作成が行われる
	1月 ●(大東市・四條畷市)GPSによる縄張り測量調査を実施
	1~3月 ●(大東市・四條畷市)中井均の指導によりGPSを用いた城跡の詳細な縄張り図を作成
	11月 ■(NPO法人摂河泉地域文化研究所)シンポジウム「飯盛山城を考える 関西城郭サミット 天上の 飯盛山城 視界270°の世界」を開催
平成25 (2013)	3月 ●(大東市・四條畷市)石垣調査を実施 ●(大東市・四條畷市)『飯盛山城跡測量調査報告書』刊行
	10月 ■(NPO法人摂河泉地域文化研究所)シンポジウム「関西城郭サミット2013in飯盛城 飯盛山城と文 人 三好長慶」を開催
	12月 ■(大東市・四條畷市)『飯盛城跡縄張測量図』を刊行
平成26 (2014)	3月 ◆(大東市)市議会で飯盛城跡の史跡指定をめざす旨表明 ●(大東市・四條畷市)石垣調査を実施
	10月 ◆(大東市・四條畷市)飯盛城跡の国史跡指定をめざす旨の文書を大阪府に提出
	11月 ■(NPO法人摂河泉地域文化研究所)シンポジウム「関西城郭サミット2014in飯盛城 飯盛山城と河 内キリシタン」を開催
平成27 (2015)	■(大東市)市制施行60周年プレイベント ミニシンポジウム「天下人 三好長慶と飯盛城」を開催
	3月 ●(大東市・四條畷市)石垣調査を実施 ▲(四條畷市)市議会で「四條畷市飯盛城跡の調査研究に関する専門委員会条例」可決、教育委員会定 例会で「四條畷市飯盛城跡の調査研究に関する専門委員会規則」承認 ●(大東市)飯盛山地籍図照合・地権者調査委託(平成28年3月まで)
	6月 ▲(大東市)市議会で「大東市飯盛城跡の調査研究に関する専門委員会設置条例」可決
	7月 ▲(大東市)教育委員会定例会で「大東市飯盛城跡の調査研究に関する専門委員会規則」承認
	8月 ▲(大東市・四條畷市)第1回飯盛城跡の調査研究に関する専門委員会(開催：大東市) ●(四條畷市)飯盛山地籍図資料調査 ■(NPO法人摂河泉地域文化研究所・大東市・四條畷市)『河内飯盛城跡 ガイドマップ』を刊行
	11月 ●(大東市)「飯盛山城遺跡」から「飯盛城跡」へ周知の埋蔵文化財包蔵地の名称を変更 ■(NPO法人摂河泉地域文化研究所)シンポジウム「関西城郭サミット2015in飯盛城 飯盛城跡と平 地城館」を開催
平成28 (2016)	■(大東市)市制施行60周年記念イベント 連続講座「いまよみがえる三好長慶の世界」を開催 ◎展望台のリニューアル
	2月 ▲(大東市・四條畷市)第2回飯盛城跡の調査研究に関する専門委員会(開催：四條畷市)
	3月 ■(大東市)『飯盛山城遺跡発掘調査概報ーグラウンド造成・FM送信所建設に伴うー』を刊行

年	出来事
	4月 ●(大東市・四條畷市)飯盛城跡の国史跡指定をめざした総合調査を開始(平成30年まで)
	7月 ●(大東市・四條畷市)航空レーザ計測を実施 ■大東市市制施行60周年記念イベント 講演会「三好長慶、河内飯盛城より天下を制す」を開催
	9月 ▲(大東市・四條畷市)第3回飯盛城跡の調査研究に関する専門委員会(開催：大東市)
	11月 ■(大東市・大東市教育委員会・学校法人四條畷学園・NPO法人摂河泉地域文化研究所)シンポジウム「関西城郭サミット2016in飯盛城 三好長慶vs織田信長」を開催 ■(NPO法人摂河泉地域文化研究所・大東市・四條畷市)『河内飯盛城跡2016』を刊行
	12月 ●(大東市)飯盛城跡Ⅶ郭(千畳敷郭)の発掘調査を実施(平成29年3月まで) ●(四條畷市)石垣測量調査を実施(平成29年3月まで)
平成29 (2017)	2月 ▲(大東市・四條畷市)第4回飯盛城跡の調査研究に関する専門委員会(開催：四條畷市)、専門委員による調査視察 ◆文化庁調査官、飯盛城跡を視察
	3月 ■(大東市・四條畷市)発掘調査・石垣測量調査の現地説明会を開催 ■(大東市・四條畷市)『河内飯盛山 登山コースガイドマップ』を刊行
	4月 ■飯盛城跡が「続日本100名城」に選定
	5月 ■(四條畷市)スポット展示『飯盛城跡調査速報展2017』を開催
	7月 ▲(大東市・四條畷市)第5回飯盛城跡の調査研究に関する専門委員会(開催：大東市)
	11月 ■(NPO法人摂河泉地域文化研究所・学校法人四條畷学園・大東市・大東市教育委員会・四條畷市・四條畷市教育委員会)シンポジウム「関西城郭サミット2017in飯盛城 三好長慶の城」を開催 ■(NPO法人摂河泉地域文化研究所・大東市・四條畷市)『河内飯盛城跡2017』を刊行
	12月 ■(大東市・四條畷市)(公財)日本城郭協会主催事業「お城EXPO 2017」参加(パシフィコ横浜)
平成30 (2018)	1月 ●(大東市)飯盛城跡Ⅶ郭(千畳敷郭)・Ⅸ郭(南丸)の発掘調査、石垣測量調査を実施(平成30年2月まで) ●(四條畷市)飯盛城跡Ⅴ郭(御体塚郭)の発掘調査、石垣測量調査を実施(平成30年2月まで)* 現地説明会は雨天のため中止
	2月 ▲(大東市・四條畷市)第6回飯盛城跡の調査研究に関する専門委員会(開催：四條畷市)、専門委員による調査視察
	5月 ■(四條畷市)スポット展示『飯盛城跡調査速報展2018』を開催
	7月 ▲(大東市・四條畷市)第7回飯盛城跡の調査研究に関する専門委員会(開催：大東市) ◆文化庁調査官、飯盛城跡を視察 ■(大東市・四條畷市)飯盛城跡調査報告会「クローズアップ飯盛城2018」を開催
	11月 ●(大東市)飯盛城跡Ⅶ郭(千畳敷郭)・虎口の発掘調査、石垣測量調査を実施(平成30年12月まで) ●(四條畷市)飯盛城跡Ⅴ郭(御体塚郭)の発掘調査、石垣測量調査を実施(平成30年12月まで) ■(大東市・四條畷市)発掘調査・石垣測量調査の現地説明会を開催 ■(NPO法人摂河泉地域文化研究所・学校法人四條畷学園・大東市・大東市教育委員会・四條畷市・四條畷市教育委員会)シンポジウム「関西城郭サミット2018in飯盛城 飯盛と堺」を開催 ■(NPO法人摂河泉地域文化研究所・大東市・四條畷市)『河内飯盛城跡2018-飯盛と堺-』を刊行
	12月 ■(大東市・四條畷市)(公財)日本城郭協会主催事業「お城EXPO 2018」参加(パシフィコ横浜)
	平成31(2019) 2月 ▲(大東市・四條畷市)第8回飯盛城跡の調査研究に関する専門委員会(開催：四條畷市)
令和元 (2019)	5月 ▲(大東市・四條畷市)第9回飯盛城跡の調査研究に関する専門委員会(開催：大東市)
	7月 ■(大東市・四條畷市)飯盛城跡調査報告会「クローズアップ飯盛城2019」を開催 ■(大東市)発掘調査速報展『石垣が語る飯盛城-戦国期山城の考古学-』を開催
	8月 ■(大東市・四條畷市)『河内飯盛山 登山コースガイドマップ-続日本100名城 国史跡飯盛城跡-』を刊行
	11月 ▲(大東市・四條畷市)第10回飯盛城跡の調査研究に関する専門委員会(開催：大東市) ■(NPO法人摂河泉地域文化研究所・学校法人四條畷学園・大東市・大東市教育委員会・四條畷市・四條畷市教育委員会)シンポジウム「関西城郭サミット2019in飯盛城 飯盛城研究の10年」を開催
令和2 (2020)	3月 ■(大東市・四條畷市)『飯盛城跡総合調査報告書』を刊行
	9月 ◎◎(大東市)石垣1応急保護措置 ◎◎(大東市)樹木伐採2本(石垣11)
	10月 ●(大東市)NHK・FM送信所オイルタンク入替に伴う試掘調査
	11月 ●(大東市)飯盛城跡石垣69測量調査を実施 ■([大東市立生涯学習センターアクロス]アクロス歴史文化カレッジ)シンポジウム「関西城郭サミット2020in飯盛城 飯盛城跡調査研究の到達点」を開催 ◎◎(大東市)樹木伐採42本(桜池からX郭南側まで)
	令和3 (2021) 1月 ◆(大東市・四條畷市)国に対して飯盛城跡の国史跡指定について意見具申を行う 1~2月 ◎◎(大東市)樹木伐採70本(石垣1・石垣69付近、Ⅶ郭北東斜面) 4月 ■(大東市)石垣69測量調査速報パネル展示 6月 ◆飯盛城跡の国史跡指定について国の文化審議会から文部科学大臣に答申 7月 ■(大東市・四條畷市)飯盛城跡調査報告会「クローズアップ飯盛城2021」を開催

年	出来事
	■(大東市)スポット展示『飯盛城築城一調査成果からみる城のつくりかた一』を開催 ■(大東市・四條畷市)『飯盛城跡一石垣ガイド一』を刊行 ◎(大東市)樹木伐採20本(Ⅰ郭東斜面からⅧ郭までの道路沿い)
	10月 ◆飯盛城跡が国史跡に指定される ■(四條畷市)特別展示『「天下の支配者」三好殿一考古学からみた天下人三好長慶の軌跡と飯盛城一』を開催 ■(四條畷市)特別展開連イベント 飯盛城跡散策を開催
	11月 ●(大東市)飯盛城跡石垣測量調査を実施 ■(四條畷市)特別展開連イベント 飯盛城跡散策を開催
	12月 ■(大東市・四條畷市)飯盛城跡の現地見学会を開催
	2月 ◆飯盛城跡の管理団体に大東市・四條畷市が指定される
令和4 (2022)	4月 ■(四條畷市)市民総合センターで飯盛城跡出土遺物のスポット展示を実施 ■(大東市)『よみがえる飯盛城～「天下人」三好長慶 最後の居城』3DCGアプリを公開 ●(四條畷市)大阪府立四條畷高等学校が所蔵する昭和42年度発掘調査出土資料の再整理を同校と協働で開始 ■(大東市・四條畷市)4月6日、第1回日本城郭協会大賞受賞 ▲(大東市・四條畷市)第1回史跡飯盛城跡保存活用計画策定委員会(開催：大東市)
	7月 ■(大東市・四條畷市)飯盛城跡調査報告会「クローズアップ飯盛城2022」を開催 ■(大東市・四條畷市)『国史跡 飯盛城跡 石垣ガイド』を刊行 ■(大東市・四條畷市)『河内飯盛山 登山コースガイドマップー続日本100名城 国史跡飯盛城跡ー』(改訂版)を刊行
	8月 ■(大東市)テレビ大阪主催「第1回 大阪お城フェス2022」参加(グランフロント大阪)
	8~9月 ◎(大東市)樹木伐採39本(Ⅷ郭北東斜面、Ⅰ郭東斜面)
	9月 ■(大東市・四條畷市)『国史跡 飯盛城跡 パンフレット』を刊行
	10月 ■(大東市)国史跡指定 三好長慶生誕500年記念シンポジウム「国史跡飯盛城跡ー歴史的価値と今後の活用を探る一」を開催 ■(大東市)『飯盛城主・三好長慶と大東の歴史ー戦国時代編ー』刊行 ▲(大東市・四條畷市)第2回史跡飯盛城跡保存活用計画策定委員会(開催：四條畷市)
	11月 ◆史跡飯盛城跡の追加指定
	12月 ■(大東市・四條畷市)(公財)日本城郭協会主催事業「お城EXPO 2022」日本城郭協会大賞記念講演(パシフィコ横浜)
	1月 ▲(大東市・四條畷市)第1回「飯盛城跡を未来に活かすかたちを考えるワークショップ」の開催 ▲(大東市・四條畷市)第3回史跡飯盛城跡保存活用計画策定委員会(開催：大東市) ◎(大東市)樹木伐採186本(X郭[馬場]南斜面、桜池からX郭までの道沿い)
	2月 ▲(大東市・四條畷市)第2回「飯盛城跡を未来に活かすかたちを考えるワークショップ」の開催 ▲(大東市・四條畷市)第3回「飯盛城跡を未来に活かすかたちを考えるワークショップ」の開催 ◎(大東市)樹木伐採2本(石垣6・7)
令和5 (2023)	3月 ▲(大東市・四條畷市)第4回「飯盛城跡を未来に活かすかたちを考えるワークショップ」の開催 ■(大東市)『国史跡 飯盛城跡散策マップ』を刊行 ◆史跡飯盛城跡の追加指定
	5月 ▲(大東市・四條畷市)第1回史跡飯盛城跡現状変更等取扱説明会の開催 ▲(大東市・四條畷市)第4回史跡飯盛城跡保存活用計画策定委員会(開催：四條畷市)
	7月 ▲(大東市・四條畷市)第5回史跡飯盛城跡保存活用計画策定委員会(開催：大東市)
	8月 ▲(大東市・四條畷市)「史跡飯盛城跡保存活用計画(原案)」のパブリックコメントの実施
	9月 ▲(大東市・四條畷市)第2回史跡飯盛城跡現状変更等取扱説明会の開催 ◎(大東市)樹木伐採71本(桜池～X郭南側まで)
	10月 ▲(大東市・四條畷市)第6回史跡飯盛城跡保存活用計画策定委員会(開催：四條畷市)
	12月 ▲(大東市・四條畷市)第7回史跡飯盛城跡保存活用計画策定委員会(開催：大東市)

(氏名敬称略)

2. 計画策定の目的

飯盛城跡は戦国時代末期の曲輪・石垣等の城郭遺構が良好な状態で遺存している一方、自然災害や樹木による遺構の損傷、土壌排水機能の劣化による大規模な土砂崩れ等が発生しており、史跡保全の観点から対応を迫られる事態となっている。また、史跡に指定されたことで見学者が急増し、戦国時代を体験する歴史空間としての認知が進んでいる一方、見学者の踏圧等による遺構のき損が起きている。さらに、史跡へのアクセス道の維持管理や誘導案内板及び遺構の説明板の不足、草木による遺構の被覆等史跡の活用における問題点が指摘されている。その他、飯盛城跡の周囲に位置する関連遺跡とのネットワークづくりや調査で得られたデータを活用した新たな情報公開・発信、さらに教育・文化面とともに地域活性化・観光面を含めたより一層の史跡の活用が必要といえる。

以上のことを踏まえ、貴重な歴史遺産を後世に確実に継承し、活用を図るために現状と課題を整理し、保存・活用の基本的な考え方や方針・方法、取り組むべき施策・事業の実施計画を定め、中・長期的な観点から取り組みが進められるよう「史跡飯盛城跡保存活用計画」を策定する。

3. 計画の対象範囲と実施期間

(1) 計画の対象範囲

本計画の中心となる主たる計画対象区域は、飯盛城跡の史跡指定地である。また、飯盛城跡の城域においては追加指定の検討を要する区域も存在することから、今後保護を要する未指定地も本計画の主たる計画対象区域に含めるものとする。

本計画では、飯盛城跡の支城跡を主たる計画対象区域と一体的な保存・活用をめざす関連地とする。さらに、飯盛城を中心とした交通ネットワークである推定登城道や周辺の街道、旧深野池の範囲を史跡と市域を結ぶネットワークとして保存・活用をめざす周辺区域とする。

計画の策定においては、上記以外の文化財や歴史的資源についても考慮し、関連文化財や歴史的資源を活用した史跡と市域全体を結ぶネットワークづくりや史跡の学習・情報発信に取り組むための既存の文化施設の活用を含めた総合的な計画を策定する。

なお、本書で使用する曲輪の名称は中井均の研究に基づくものであり、城の機能時の名称ではないことを付記しておく。

主たる計画対象区域	史跡指定地	史跡指定地及び史跡指定予定地	698,557.20 m ² (大東市域：567,273.30 m ² 四條畷市域：131,283.90 m ²) ※詳細な指定範囲は図 36 参照	本計画の中心となる区域。	図 1 参照
	史跡指定地外(関連地)	飯盛城の支城跡	茶臼山砦跡(龍尾寺)、龍間城跡、野崎城跡、南野砦跡、三箇城跡、田原城跡・千光寺跡、岡山城跡・砂寺内町	史跡指定地外だが、飯盛城跡と一体的な城郭機能を構成するため、主たる計画対象区域と一体的な保存・活用をめざす関連地。	図 1 参照
関連する計画対象区域	史跡指定地外(周辺区域)	飯盛城を中心とした交通ネットワーク	i 推定登城道 ii 東高野街道の西側に存在した旧深野池の範囲 iii 街道(清滝街道、東高野街道、中垣内越道)	史跡と市域全体を結ぶネットワークとして文化財や歴史的資源の保存・活用をめざす周辺区域。	図 2 参照

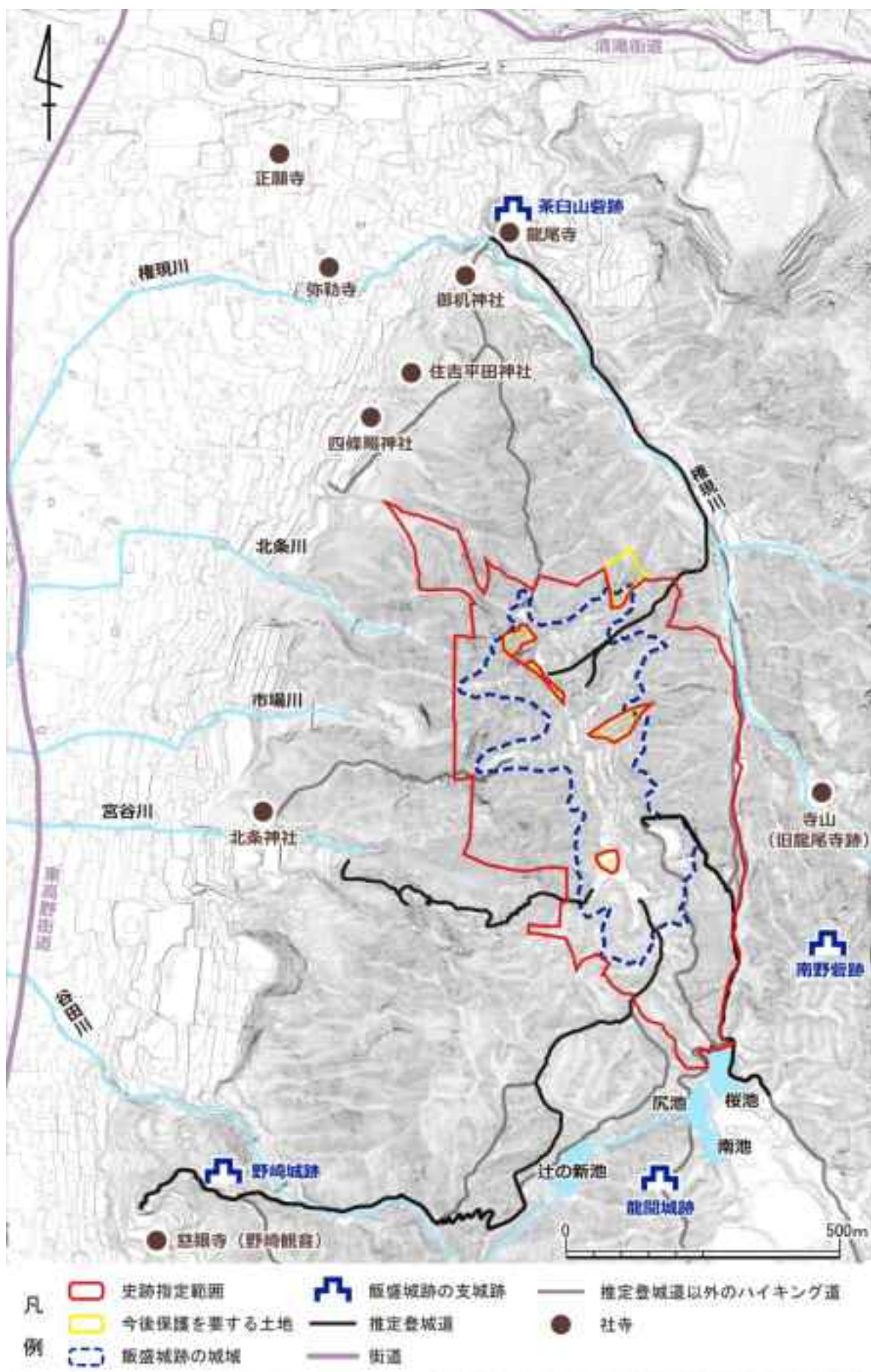


図1 計画対象範囲(主たる計画対象区域及び飯盛城跡関連区域)



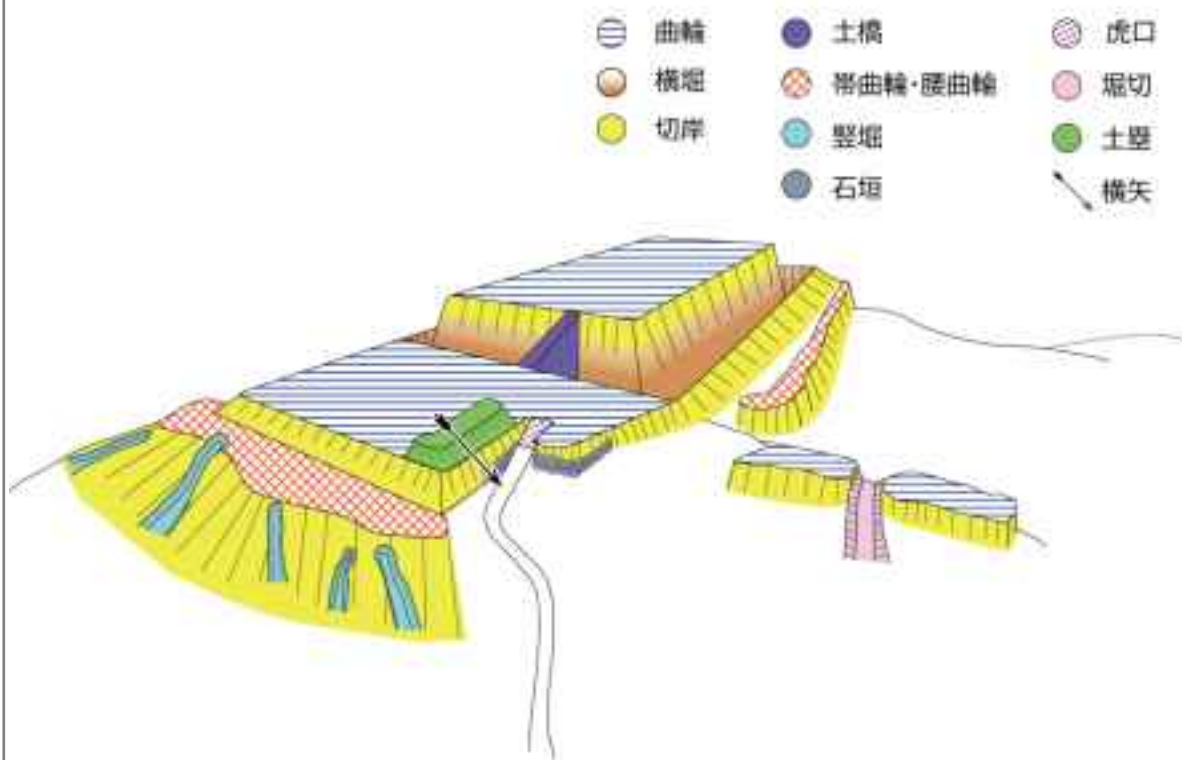
図2 計画対象範囲(概念図)

(2) 計画の実施期間

本計画の実施は令和6年(2024)4月1日から令和16年(2034)3月31日までの10年間とする。

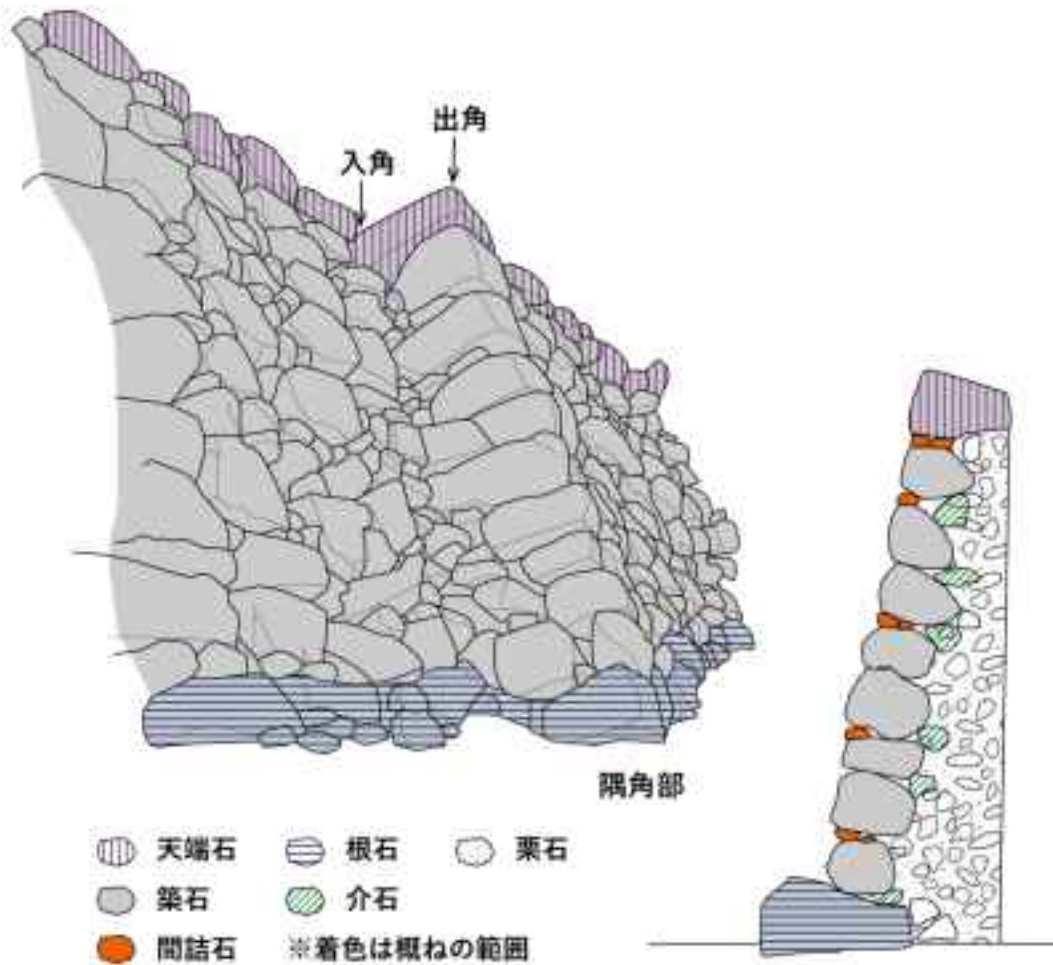
【城郭用語】

なわばり	縄張り	城の平面プラン。縄張りを図化したものを縄張り図という
くるわ	曲輪	防御遺構で囲まれた人工的な平坦面
おび	帯曲輪	長く設けられた曲輪
こし	腰曲輪	ポイント的に設けられた曲輪
ど	土塁	防御のために築いた土手
きり	切岸	人工的に作られた急傾斜
ほり	堀切	尾根伝いの侵入を防ぐために尾根を断ち切って作る空堀
たて	竪堀	斜面の水平移動を防ぐための空堀
うねじょうからほりぐん	畝状空堀群	竪堀とそれに沿うように土塁を交互に3条以上並べたもの
ど	土橋	堀切に架けられた土の橋
こ	虎口	城の出入口
よこ	横矢掛り	側面から敵を攻撃できるように土塁や石垣などの塁線を曲げたりする工夫



【石垣の用語】

のづらづ 野面積み	自然石や整形していない石材を使用した石垣の積み方
てんば 天端石	石垣の最上段に積む石材
つき 築石	石垣の立面を構成する石材
まづめ 間詰石	築石の隙間を埋めるために詰められた石材
かい 介石	築石などの裏面に接して支える役割をもつ石材
ね 根石	石垣の基礎になる最下段の石材
あごど 顎止め石	築石よりも前にせりだして据えた根石
うらご 裏込め	築石の背後に充填された栗石・砂利層。排水機能を持つ
ぐり 栗石	築石の背面に充填された石材。築石が背面から受ける土圧の緩衝機能を持つ
かくぶ 隅角部	石垣の墨線を曲げて作られた角。出角と入角で構成される
ですみ 出角	石垣の墨線を外側に曲げてつくられた凸部分の角
いずみ 入角	石垣の墨線を外側に曲げてつくられた凹部分の角
るいせん 墨線	石垣や土墨などのライン
やあな 矢穴（痕）	矢（クサビ）で石を割るために石に彫られた矢を入れる穴



4. 専門委員会の設置と経緯

大東市と四條畷市では、飯盛城跡の歴史、構造等を解明し、その保存及び整備並びに活用に資するため、両市の条例に基づき、「大東市飯盛城跡の調査研究に関する専門委員会」、「四條畷市飯盛城跡の調査研究に関する専門委員会」を平成 27 年(2015)に設置した。

本計画策定にあたっては、必要な事項の意見聴取及び検討を行うために、「史跡飯盛城跡保存活用計画策定委員会」として、令和 4 (2022)年度に 3 回、令和 5 (2023)年度に 4 回、計 7 回開催した。

史跡飯盛城跡保存活用計画策定委員会 委員名簿

氏名	所属	専門
<会長> 中井 均	滋賀県立大学名誉教授	考古学
<副会長> 内田 和伸	独立行政法人国立文化財機構 奈良文化財研究所 文化遺産部長兼遺跡整備研究室長	史跡整備
西形 達明	関西大学名誉教授 協同組合 関西地盤環境研究センター 顧問	地盤工学
土井 裕介	地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所 環境研究部自然環境グループ 主任研究員	森林生態学
天野 忠幸	天理大学文学部歴史文化学科准教授(令和 4 年度まで) 教授(令和 5 年度から) 大東市文化財保護審議会 委員	日本中世史
野島 稔	四條畷市立歴史民俗資料館 館長 四條畷市文化財保護審議会 委員	考古学

オブザーバー

氏名	所属		備考
渋谷 啓一	文化庁	文化財第二課 主任文化財調査官	
木村 啓章	大阪府	文化財保護課 主査	
北川 咲子	教育庁	文化財保護課 技師	
石橋 博寿	大東市 地域代表	龍間区長	
山本 重治		北条第 1 区長(任期令和 4 年度)	
向井 望		野崎第 1 区長	
山本 良雄		野崎第 2 区長	
中村 敬治	大東市 関係部局	産業・文化部産業経済室 総括次長	
藤原 成典		産業・文化部都市魅力観光課 次長	令和 4 年度まで
坂本 千里		産業・文化部観光振興課 課長	令和 5 年度から
福田 悦子		政策推進部戦略企画課 課長	
萩原 一行		政策推進部公民連携推進室 課長	令和 4 年度まで
田中 知子		政策推進部公民連携推進室 総括次長	令和 5 年度から
三保木 貴幸		都市整備部都市政策室都市政策課 課長	令和 4 年度まで
渡邊 武志		都市経営部都市政策課 次長兼課長	令和 5 年度から
村田 大亮		都市整備部都市政策室開発指導課 総括次長	令和 4 年度まで
永野 幸宏		都市整備部開発指導課 総括次長兼課長	令和 5 年度から
原田 浩二		都市整備部都市整備室道路課 課長	
渡邊 武志		都市整備部都市整備室みどり課 課長	令和 4 年度まで

氏名	所属		備考
三保木 貴幸		都市整備部みどり課 課長	令和5年度から
山本 真也		都市整備部都市整備室建築課 課長	令和4年度まで
小川 直樹		都市経営部資産経営課 課長補佐	令和5年度から
星野 光二		危機管理室 課長	
佐藤 康雄	四條畷市	南野地区(畑中)	
井坂 良輔	地域代表	南野地区(滝木間)	
鈴木 信一	四條畷市 関係部局	総合政策部企画広報課 副参事兼課長(令和4年度)・ 次長兼課長(令和5年度)	
藤戸 学		総合政策部企画広報課 課長代理兼主任	
西野 英晃		市民生活部地域振興課 次長兼課長	
足立 聡		都市整備部都市政策課 次長兼課長(令和4年度)・ 次長兼課長兼主任(令和5年度)	
田中 寛久		都市整備部建設整備課 課長	
阪上 浩一		都市整備部建設管理課 課長	令和4年度まで
木邨 吉洋		都市整備部建設管理課 次長兼課長	令和5年度から
山根木 直樹		都市整備部危機管理課 課長	

大東市事務局

氏名	所属		備考
北田 哲也	大東市 産業・文化部	大東市産業・文化部 部長	
家村 幸一		生涯学習課 課長	
馬場 弘行		生涯学習課 上席主査	
佐々木 拓哉		生涯学習課 係員(令和4年度)・主査(令和5年度)	
李 聖子		生涯学習課 係員	
黒田 淳		生涯学習課 係員	
松迫 寿		生涯学習課 係員	令和4年3月から

四條畷市事務局

氏名	所属		備考
植田 篤司	四條畷市 教育委員会	教育長	
阪本 武郎		教育部 部長	
花岡 純		教育部 次長	
神本 かおり		スポーツ・文化財振興課 課長	
村上 始		スポーツ・文化財振興課 上席主幹兼主任(令和4年度)・ 副主幹(令和5年度)	
實盛 良彦		スポーツ・文化財振興課 主任(令和4年度)・課長代 理兼主任(令和5年度)	
田中 香里		スポーツ・文化財振興課 事務職員	

■第1回史跡飯盛城跡保存活用計画策定委員会（大東市）

【開催日時】 令和4年5月30日(月)13時～15時

【会 場】 北条コミュニティセンター(いいもりぷらざ)

【主な議題】・飯盛城跡の国史跡指定の経緯

- ・飯盛城跡の指定状況と指定範囲
- ・保存活用計画策定について
- ・史跡飯盛城跡保存活用計画の構成とスケジュール
- ・史跡飯盛城跡保存活用計画策定に係る調査について

■第2回史跡飯盛城跡保存活用計画策定委員会（四條畷市）

【開催日時】 令和4年10月24日(月)13時～14時30分

【会 場】 四條畷市役所 東別館 201 会議室

【主な議題】・史跡飯盛城跡保存活用計画策定支援業務委託プロポーザルの結果について

- ・保存活用計画 第1章～第3章(案)
- ・関連事業について

■第3回史跡飯盛城跡保存活用計画策定委員会（大東市）

【開催日時】 令和5年1月30日(月)13時～15時

【会 場】 北条コミュニティセンター(いいもりぷらざ)

【主な議題】・保存活用計画 第1章～第3章(修正案)

- ・保存活用計画 第4章～第6章(案)
 - ・史跡の追加指定について
 - ・関連事業について(飯盛城跡を未来に活かすかたちを考えるワークショップ開催状況報告)
 - ・飯盛城跡石垣6・7の土砂流出について
- ※文化庁調査官の石垣被害状況視察

■第1回史跡飯盛城跡現状変更等取扱説明会

【開催日時】 令和5年5月20日(日)14時～15時

【会 場】 大東市役所南別館1階

【内 容】 地権者・権利関係者を対象に現状変更等取扱の概要説明

■第4回史跡飯盛城跡保存活用計画策定委員会（四條畷市）

【開催日時】 令和5年5月29日(月)13時～15時

【会 場】 四條畷市役所 東別館 201 会議室

【主な議題】・保存活用計画 第4章～第6章 確認

- ・保存活用計画 第7章～第9章(案)
- ・関連事業について(現状変更等の取扱い説明会開催方法報告)
- ・石垣6・7 応急保護措置実施報告

■第5回史跡飯盛城跡保存活用計画策定委員会（大東市）

【開催日時】令和5年7月21日(金)13時～15時

【会 場】北条コミュニティセンター(いいもりぷらざ)

【主な議題】・保存活用計画 第7章～第9章(修正案)
・保存活用計画 第10章～第13章・資料編(案)
・パブリックコメント実施説明

■パブリックコメント

【意見募集期間】令和5年8月1日(火)～8月31日(木)

【意見件数】大東市3名22件、四條畷市3名29件

■第2回史跡飯盛城跡現状変更等取扱説明会

【開催日時】令和5年9月24日(日)14時～15時

【会 場】四條畷市役所東別館2階201会議室

【内 容】地権者・権利関係者を対象に飯盛城跡の現状変更の取扱基準について説明

■第6回史跡飯盛城跡保存活用計画策定委員会（四條畷市）

【開催日時】令和5年10月30日(月)13時～15時

【会 場】四條畷市役所 東別館201会議室

【主な議題】・保存活用計画第10章～第13章・資料編（修正案）
・パブリックコメント結果報告

■文化庁協議

【開催日時】令和5年11月6日(月)

【会 場】文化庁 京都庁舎

【主な議題】保存活用計画 内容の確認

■第7回史跡飯盛城跡保存活用計画策定委員会（大東市）

【開催日時】令和5年12月18日(月)13時～15時

【会 場】大東市役所 厚生棟2階B会議室

【主な議題】・文化庁協議を踏まえた最終案
・総括



図3 第1回委員会(大東市)



図4 調査官による石垣被害視察



図5 第4回委員会(四條畷市)

5. 上位計画・関連計画と本保存活用計画との関連

本計画は大東市・四條畷市で策定する計画のため、両市の上位計画に即するとともに、関連計画と調整を図った。以下、各市における本計画の関連について記載する。

令和2年(2020)に策定された大阪府文化財保存活用大綱の内容(めざすべき姿「歴史が輝き未来と織り成す魅力都市・大阪」、基本理念1「文化財の適切な保存・活用による次世代への確実な継承」、基本理念2「文化財の適切な保存・活用による継続的な地域の維持発展」)を勘案のうえ策定する。

(1) 大東市

大東市では、市民憲章(昭和46年[1971]制定)の中で「(わたくしたち大東市民は)伝統をたつとび未来をそだて 心をあわせて文化のまちをつくりましょう」を掲げており、市民の生活の指針として伝統や文化を重んじることが記されている。

大東市における本計画の上位計画は、第5次大東市総合計画(令和3[2021]年度～令和12[2030]年度)が該当する。第5次大東市総合計画は、まちづくりの理念「あふれる笑顔 幸せのまち大東づくり」の実現をめざし、総合的なまちづくりの理念と方向性を示したもので、第2期大東市まち・ひと・しごと創生総合戦略(令和3年～令和7年[2025])と一体的に整理し、「幸せデザイン 大東」として策定している。

総合戦略では重点分野2「エリアの価値を高める都市整備と都市空間の創出」における課題として飯盛城跡の国史跡指定に向けた取り組みがあり、具体的施策(6)「まちに対する市民の愛着の醸成」の「文化・歴史に対する市民の誇りの醸成と次世代への継承」の項目において飯盛城跡の国史跡指定の周知啓発を挙げるとともに、(7)「ブランディングの強化と発信力の向上」の「飯盛城跡の国史跡指定を契機とした来街意欲の喚起と東部地域の活性化」の項目において、史跡にかかるコンテンツ等の充実化を挙げている。

その他、関連する計画として、大東市教育大綱、都市計画マスタープラン、大東市景観計画、大東市国土強靱化地域計画、第2期大東市環境基本計画、大東市歴史的資源活用基本方針が挙げられる。

「大東市歴史的資源活用基本方針」では飯盛城跡と城主の三好長慶を文化・商業・観光の核とし、インバウンド・アウトバウンドの拡大とシビックプライドの醸成に寄与させる方針が示されている。大東市都市計画マスタープランでは飯盛城跡が位置する山地部地域の将来像及び地域づくりの基本方針を「生駒山系の緑豊かな自然環境と生活・レクリエーション活動の場が調和する地域」と定めている。

本計画は上位計画である「幸せデザイン 大東(第5次大東市総合計画及び第2期大東市まち・ひと・しごと創生総合戦略)」に即するとともに、上記の関連計画・方針との調整を図って策定した。

(2) 四條畷市

四條畷市では、市民憲章(昭和50年[1975]制定)の中で「(わたくしたち四條畷市民は)豊かな伝統と歴史をまもり新しい文化をそだてます」を掲げており、市民の生活の指針として伝統や文化を重んじることが記されている。

四條畷市における本計画の上位計画は、第6次四條畷市総合計画(平成28[2016]年度～令和7[2025]年度)と四條畷市教育大綱(令和3年度～令和7年度)、四條畷市教育振興基本計画(令和4

[2022]年度～令和17[2035]年度)の3つの計画が該当する。第6次四條畷市総合計画は、まちの将来像として「自然と歴史をいつくしみ やすらぎ めくもり にぎわいをそだてよう みんなの夢をつくるまち 四條畷～すべては住みよいまちづくりのために～」の実現をめざし、総合的なまちづくりの理念と方向性を示したものである。四條畷市教育大綱は、将来を担う子どもたちの生きる力を育む観点から、子どもたちの育ち、学び、健やかな成長について重点を置き、教育に対する普遍的な理念と基本方針を定めるもので、四條畷市教育振興基本計画はこれまでの教育振興ビジョンに基づく取り組みのさらなる充実と発展に加え、将来を見据えた教育の展望を示したものである。

関連計画としては、四條畷市都市計画マスタープラン、四條畷市国土強靱化地域計画、四條畷市産業振興ビジョン、四條畷市みどりの基本計画、四條畷市環境基本計画が挙げられる。

本計画は上位計画である第6次四條畷市総合計画、四條畷市教育大綱、四條畷市教育振興基本計画に即するとともに、上記関連計画との調整を図って策定した。

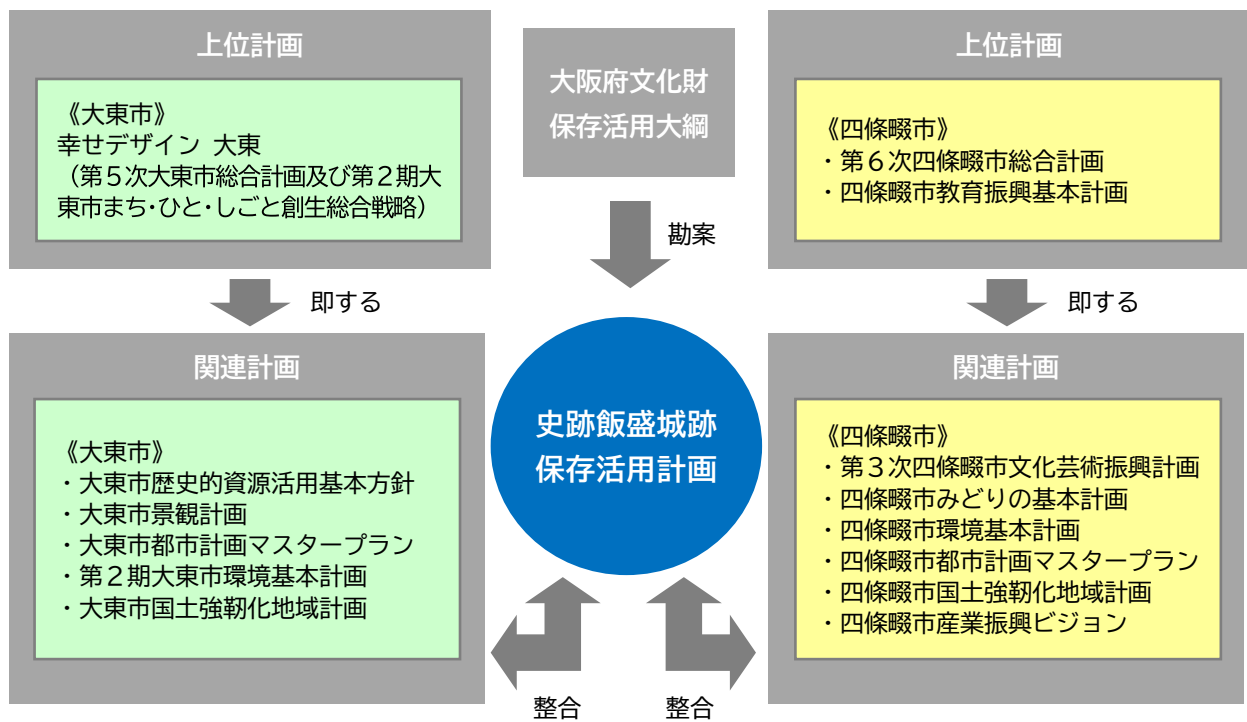


図6 計画の位置付け

表 2 上位・関連計画での位置づけ(大東市)

計画(期間)		位置づけ(飯盛城跡に関する事項を抜粋)		
幸せデザイン大東	第 5 次大東市 総合計画 (令和 3 [2021]年度～ 令和 12[2030]年度)	【まちづくりの理念】 あふれる笑顔 幸せのまち大東づくり		
	第 2 期大東市 まち・ひと・しごと 創生総合戦略 (令和 3 [2021]年度～ 令和 7 [2025]年度)	【「重点分野 2 :エリアの価値を高める都市整備と都市空間の創出」の具体的施策】		
		(6)まちに対する市民 の愛着の醸成	文化・歴史に対する市民の誇 りの醸成と次世代への継承	・飯盛城跡の国指定史跡の周知 啓発
		(7)ブランディングの 強化と発信力の向上	飯盛城跡の国史跡指定を契機 とした来街意欲の喚起と東部 地域の活性化	・史跡の CG 化・AR 化 ・関連グッズの開発・販売 ・飯盛城跡へ誘導する案内表示 の充実
大東市歴史的資源活用基本 方針 (平成 27 年[2015]策定)		【飯盛城と三好長慶の時代】 《ハード》 ・今後「飯盛城跡、三好長慶、河内キリシタン」のセットで学術研究と遺物、遺 跡の整備を進める。 《ソフト》 ・人々に「飯盛城跡、三好長慶、河内キリシタン」による「戦国最先端地域」の 物語を浸透させる。 ・市民に対して飯盛城跡を中心とした「戦国時代の最先端地域だった大東市域」 の物語を啓発する ・市外の歴史ファンに対して三好長慶と飯盛城跡を中心とした「戦国最先端地 域」の物語を啓発する ・市外の歴史無関心者に対して、「知られざる謎の戦国史」として話題化。 上記ハード、ソフトの両輪を同時に回すことで、シビックプライドの形成と市外 からのインバウンドを呼び込む。		
大東市景観計画 (令和 2 年[2020]策定)		【基本目標】 都市・自然・歴史が豊かに共存し、まちへの誇りを育む笑顔あふれる景観形成 【基本方針】 自然環境や歴史情緒あるまちなみを育てます。		
大東市都市計画マスター プラン (令和 4[2022]年度～ 令和 13[2031]年度)		【地域別構想：山地部地域】 《将来像》 生駒山系や歴史・文化遺産等の地域資源と、生活・活動の場が調和する緑豊かな地域 《都市施設の整備方針》 国史跡に指定された飯盛城跡については、土地利用検討ゾーンとの相乗効果を視野 に入れつつ、本市の歴史的シンボルや観光資源として活用することで来街意欲の喚 起につなげることをめざし、周辺エリアも含めたまちづくりの推進やアクセス性の 向上を図ります。		
第 2 期大東市環境基本計画 (平成 28[2016]年度～ 令和 7[2025]年度)		【基本理念～めざすべき環境像～】 快適でうるおいのある豊かな環境を創り、守り、育て、伝えていく まち だいとう 【「基本目標：人と自然との“わ”となる『だいとうの環境』」の主な施策】 自然環境との調和を図りながら、飯盛山などの生駒山系や山麓部における旧街道沿 いのまちなみを巡るネットワークを形成します。		

大東市国土強靱化地域計画 (令和5[2023]年3月改訂) (令和3[2021]年度～ 令和13[2031]年度)	【計画策定の趣旨】 大規模自然災害等に対し「致命的な被害を負わない強さ」と「速やかに回復するしなやかさ」を備えた「安全安心な地域・経済社会の構築」をめざす 【防災に関する取り組み状況】 指定避難所等の指定、各種ハザードマップの作成、民間企業や他自治体等と各種の災害協定を締結するなどの取り組みを行っている。51地区で自主防災組織が結成され、各地区で防災訓練等の取り組みが行われている。 【脆弱性評価結果・個別事業(具体的な取り組み)】 起きてはならない最悪の事態「貴重な文化財や環境的資産の喪失、地域コミュニティの崩壊等による有形・無形の文化の衰退・喪失」に対する個別事業 (1)文化財の防災対策の推進 (2)国史跡区域の地籍調査の実施 (3)文化財保護の推進 (4)地域の有形・無形文化財の継承の推進
--	--

表3 上位・関連計画での位置づけ(四條畷市)

計画(期間)	位置づけ(飯盛城跡に関する事項を抜粋)		
第 6 次四條畷市総合計画 (第 1 フェーズ： 平成 28[2016]年度～ 令和 7 [2025]年度)	【まちの将来像】 自然と歴史をいつくしみ やすらぎ めくもり にぎわいをそだてよう みんなの夢をつくるまち 四條畷～すべては住みよいまちづくりのために～ 【分野：学び、文化、スポーツから働きかける夢づくり】 《施策 5 歴史、文化の保存と継承》 ・市内に数多く存在する文化財や古くから受け継がれてきた伝統文化を次世代に伝えるため、住民が郷土愛を持って、それらの保護、継承、活用を担うための組織や人材を育成します。		
四條畷市教育振興基本計画 (令和 4 [2022]年度～ 令和 17[2035]年度)	【基本理念】 みんなの学びが叶うまち～生涯 学び 夢 挑戦～ 【基本方針：豊かな生涯学習活動と地域を創造する学びの支援】 《施策の方向性》 本市のさまざまな魅力あふれる伝統文化や文化財は、地域の歴史や文化の理解に欠くことのできないものであり、郷土の歴史、文化を継承し、郷土への愛着を育むよう、四條畷の宝を市民に広く周知していくための体制を充実します。		
第 3 次四條畷市文化芸術 振興計画 (令和 4 [2022]年度～ 令和 8 [2026]年度)	【計画の理念】 潤いある市民の暮らしと文化の薫り高いにぎわいあるまちづくり		
	基本方針 1 文化施設の 充実	(2)市の文化財、 文化芸術作品の 公開・展示	①文化施設およびその他の公共施設内で、市内で出土した市の文化財や、市民や市内団体の文化芸術作品の公開・展示
	基本方針 4 文化財の 保護と活用	(1)歴史的文化遺産の保存・活用	①文化遺産に触れる機会の創出 ②文化遺産の保存と継承、国史跡飯盛城跡保存活用の推進 ③歴史民俗資料館での多様な事業の実施(展示、講演会、企画展等) ④各小中学校における歴史民俗資料館の活用および郷土教育副読本や郷土史カルタを用いた授業の実施、出前講座の活用検討
		(2)歴史的文化遺産を活かした観光の促進	①市の歴史的文化遺産や伝統行事について積極的に情報発信を行い観光振興に努める(広報誌・市 HP・市公式 YouTube や SNS・パンフレット・チラシ等) ②歴史的文化遺産を活かすため、環境整備に努める(案内板、説明版、史跡めぐりルート整備・拡充、ボランティアガイド団体との連携)

四條畷市みどりの基本計画 (令和 3 [2021]年度～ 令和 22[2040]年度)	【基本理念】 豊かな自然、みどりに育まれ、ひと、まち、くらしに心とむ 四條畷		
	基本方針 1 市民と守る みどり	方向性①-1 豊かな 自然環境を守る	[施策 1]北生駒山地の豊かな自然環境の 保全
	基本方針 3 市民が誇る みどり	方向性③ みどりと まち、ひとをつなぐ	[施策 2]歴史遺産の保全 [施策 3]自然と潤いを与える環境資源に よる景観形成
四條畷市環境基本計画 (平成 29[2017]年度～ 令和 8 [2026]年度)	【基本施策：まち(6)景観や歴史的文化的遺産の保全】 ①文化財の保護 【基本施策：まち(3) 自然とのふれあいの推進】 ①自然とのふれあいの推進		
四條畷市都市計画マスター プラン (平成 29[2017]年度～ 令和 9 [2027]年度)	【地域別構想：中部地域】 《まちづくりの方向性》 金剛生駒紀泉国定公園に位置づけられている豊かな自然環境の保全・整備を図り ながら、自然とのふれあいなど恵まれた自然環境の活用を図ります。		
四條畷市国土強靱化地域 計画 (令和 3 [2021]年度～ 令和 12[2030]年度)	【めざすべきまちの姿】 ～安心、安全に暮らせる つよく・しなやかなまち 四條畷～ 【(2)-⑩ 文化財保護対策の推進】 ・市内には、国の登録有形文化財、大阪府指定の有形文化財や史跡、天然記念 物、市指定の有形文化財があることから、国、大阪府と連携を図り、文化財の 所有者・管理者の防災意識を啓発し、消火栓の設置・改修、消火・避難訓練の 実施、収蔵施設等の耐震化等を促進する。		
四條畷市産業振興ビジョン (平成 30[2018]年度～ 令和 9 [2027]年度)	【産業振興に向けためざすべき将来像】 住みたい、住みつけたいと思える地域基盤を築くべく、産業から働きかける都 市 四條畷 【観光】 《基本戦略Ⅰ「四條畷らしさ」を活かした誘客施策」の主な取り組み》 ・地域資源を活用した体験型イベントに対する支援・自然、歴史遺産や各種イベ ントの情報発信・観光ガイドブックの製作・ハイキング道など誘客環境の整備・宿 泊施設との連携事業の推進		